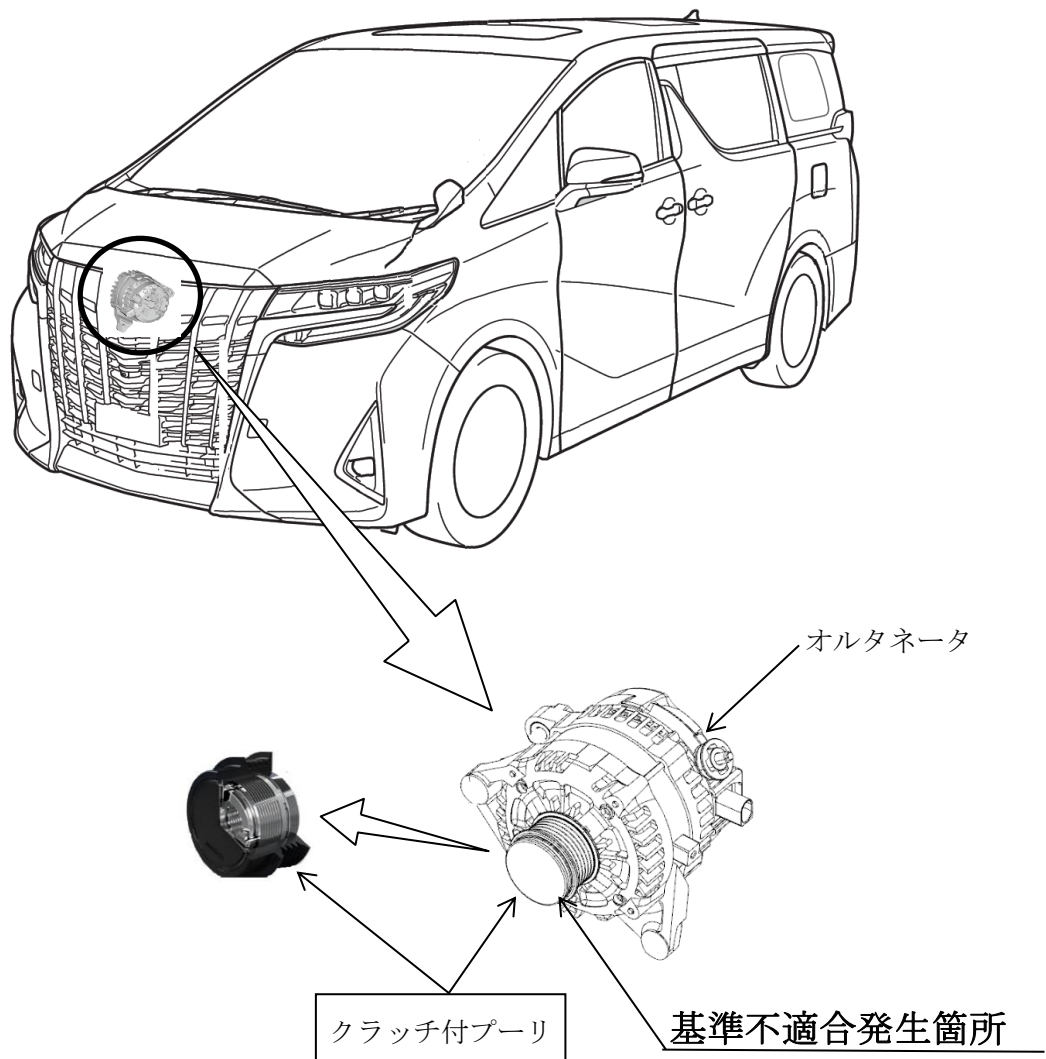


改善箇所説明図①



注： は交換部品を示す。

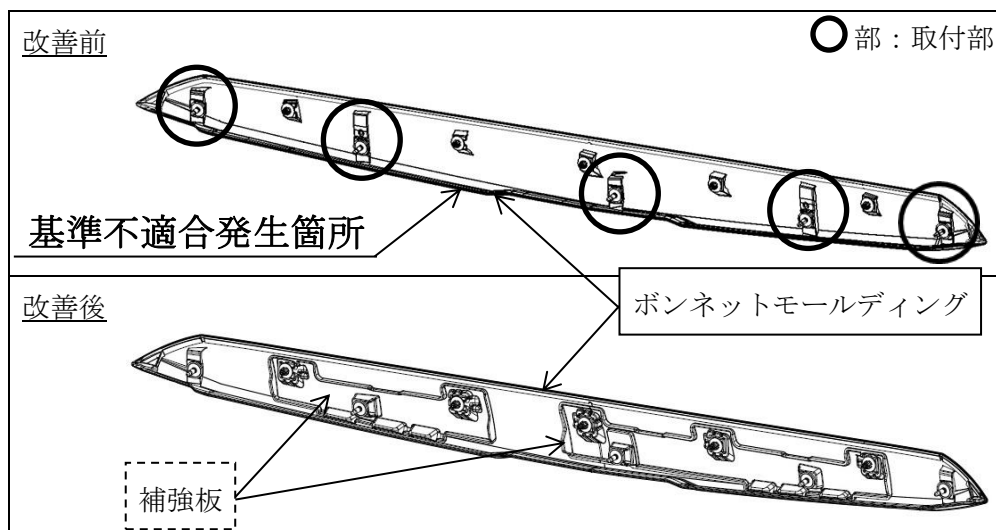
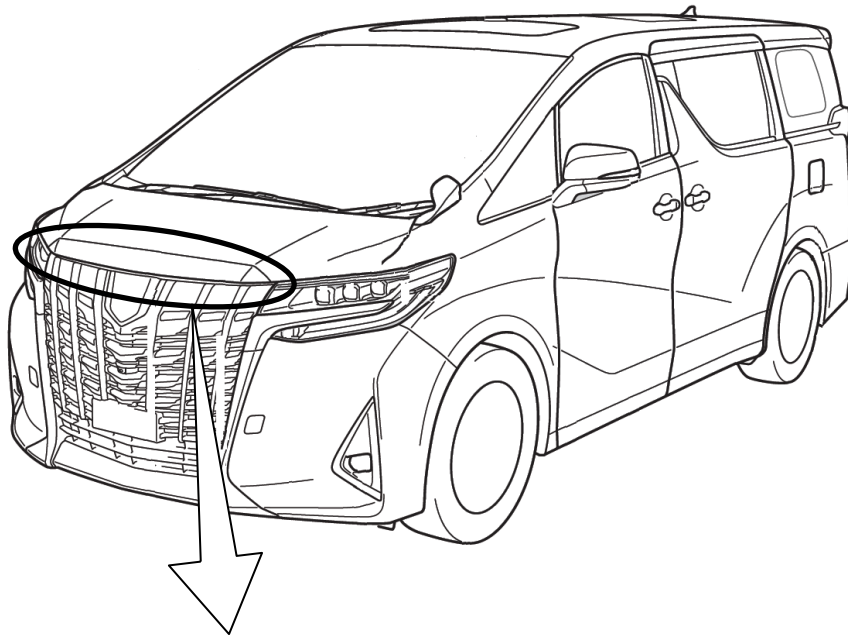
オルタネータ（発電機）のクラッチ付プーリにおいて、エンジン振動に対する耐久性の検討が不十分なため、長時間のアイドリングや特定のエンジン回転での走行を繰り返すと、プーリ内部のクラッチが摩耗して破損することがある。そのため、異音や充電警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、走行中エンストするおそれがある。

改善の内容

全車両、オルタネータプーリの形状を点検し、該当する場合は対策品と交換する。

識別：改善済車両には車台番号の3桁目の下に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



ボンネットモールディング 裏面視

注：□ は交換部品を、
□ は追加部品を示す。

ボンネットモールディングにおいて、取付構造の検討が不十分なため、温度変化によりモールディングが変形して、取付部に応力が繰り返しかかることで亀裂や緩みが生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、モールディングが脱落し、他の交通の妨げとなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ボンネットモールディングに補強板を追加する。なお、当該モールディングの一部仕様または損傷状態に応じて、対策品（補強板を追加したモールディング）に交換する。

識別：改善済車両には車台番号の3桁目の上に黄色ペイントを塗布する。